

令和7年度 幼保連携型認定こども園 イコロ昭和の森 自己評価

＜教育保育理念＞

全ての子どもたちが笑顔で成長できるよう、生きる力を培います
子ども一人一人の自主性を大切に育みます

＜教育保育目標＞

・明るく元気な自主性に満ちた子ども ・思いやりが人や自然と仲良くできる子ども ・見て、触って、心を動かす感性豊かな子ども

＜概況報告＞

教育・保育理念のもと、温かな環境を整え、一人ひとりの思いや成長を尊重した教育・保育を行ってきました。イコロの園庭は作りすぎず、自然との関わりの中で学びや創造する力を育ててほしいという願いのもと、子どもたちの主体的な活動を見守り、適切な援助を行ってきました。また、保護者と共に子どもの育ちを喜び合い、子育ての悩みに寄り添いながら関わることで、信頼関係は着実に深まっていると捉えています。

A：十分達成している B：ほぼ達成している C：検討を要する D：改善を要する

| 項目 | 内容 | 評価 | | | | 備考欄 |
|-----------------|---|----|----|---|---|---|
| | | A | B | C | D | |
| 教育保育目標 | ・目標は施設や地域の特性を活かしているか | 20 | 10 | | | 地域の特性に沿った園環境を活かし、モンテッソーリ教育に根ざした目標を設定し日々の教育・保育に取り組んできました。 |
| | ・目標は、全職員の共通理解を図っているか | 18 | 12 | | | |
| 保育について | ・指導計画は教育保育計画に基づき作成しているか | 26 | 4 | | | 教育・保育目標に基づき年間計画や指導計画の作成にあたってはカリキュラム会議を実施し、職員間での互いに読み込みと共通理解を図ってきました。 また、子どもの人権を尊重した関わりを大切に、一人ひとりに丁寧に向き合うことで、安心して自己表現ができる環境づくりに努めてきました。一方で、障害のある子どもへの対応や、教育・保育の実践における共通理解にばらつきが見られるため、今後は研修や事例共有を通して理解を深め、より質の高い保育の実現に取り組んでまいります。 |
| | ・幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく、援助・支援を適切に行っているか | 21 | 9 | | | |
| | ・子どもの人権に十分配慮し、互いに尊重する心を育てているか | 20 | 9 | 1 | | |
| | ・障害のある子どもが安心して生活できる保育環境が整備され、教育保育の内容や方法に配慮されているか | 8 | 13 | 8 | 1 | |
| | ・小学校との連携や就学を見通した計画に基づいて、教育保育の内容や方法、保護者とのかかわりに配慮されているか | 16 | 14 | | | |
| | ・子どもたちの発達にあわせて環境を整え、教育保育活動をしているか | 16 | 11 | 3 | | |
| 健康・安全について | ・食育を通して、子どもたちが楽しく食べ、食べる意欲が育つように工夫しているか | 24 | 6 | | | 食物アレルギーへの対応については、給食会議やアレルギー面談、個別計画の作成を通して、子ども一人ひとりに応じた安全な食事提供に努めてきました。その結果、安心して楽しく食事が出来る環境づくりにつながっていると捉えています。今後も家庭や地域と連携しながら、子どもたちの健やかな成長を支える安全・健康管理体制の充実に努めてまいります。 |
| | ・食物アレルギーは、個別に配慮して食事を提供しているか | 27 | 3 | | | |
| | ・年齢に合った保健対策（発育・発達の把握、SIDS予防、感染症対策）を講じているか | 18 | 12 | | | |
| | ・避難訓練や交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施しているか | 23 | 7 | | | |
| | ・乳幼児の安全確保のため、家庭・地域社会・関係機関等と連携を図っているか | 20 | 7 | 3 | | |
| 開かれたこども園づくり | ・子どもの発達などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を深めるための機会を設けているか | 16 | 13 | 1 | | 第三者評価の受審を通して、職員および保護者のニーズを共有し、園運営の改善につなげる取り組みを行ってきました。また、一時預かり保育の理解促進にも努め、利用しやすい環境づくりを進めてきました。今後は、保護者のニーズ理解をより深めるとともに、地域との連携を強化し、誰もが安心して利用できる園づくりに取り組んでまいります。 |
| | ・地域の親子が遊べる場や、育児相談などの機会や情報の提供を行っているか | 18 | 12 | | | |
| | ・一時預かり保育等の利用者にとって安心できる場になるよう努めているか | 20 | 10 | | | |
| | ・第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか | 18 | 12 | | | |
| 職員の資質向上及び職員間の連携 | ・職員の研修ニーズを把握し、職員に必要な研修機会を確保し、参加体制の充実を図り、内容を園内に還元しているか | 12 | 18 | | | 職員育成研修や外部研修を通して、職員のニーズに合わせた学びの機会を確保するとともに、教育・保育の現状に即した内容の充実を図ってきました。今後は社会の変化を踏まえた研修内容の充実に加え、学びを実践に結びつけるための共有や振り返りの機会を強化し、職員間の連携向上と保育の質の向上に取り組んでまいります。 |
| | ・研究・研修の成果を日常の保育に生かし、乳幼児の育ちに反映させているか | 12 | 14 | 4 | | |
| | ・職務内容や相互の連携に必要な情報の共有方法が明確で、協働できる体制になっているか | 12 | 14 | 4 | | |
| | ・運営改善の課題について把握し、計画的な取り組みを行うとともに、定期的に検証・見直しをしているか | 14 | 11 | 5 | | |
| 守秘義務の遵守 | ・利用者に関する個人情報を適正に取り扱っているか | 22 | 7 | 1 | | 職員研修採用時・危機管理など、業務での使用時に確認し、適正に取り扱っています。 |
| 施設・設備 | ・施設内外の設備や遊具の安全点検を計画的に行い、遊具や用具等を活用しやすいように整理、保管しているか | 20 | 9 | 1 | | 地域の情勢にも目を向けながら、会議や説明会等に参加し、得られた情報を職員間で共有してきました。また、安全計画に基づき、施設内外の安全確保に努め、継続的な管理の重要性について職員の意識向上を図ってきました。今後は地域の特性を踏まえた環境づくりとともに、安全で安心できる施設運営の維持・向上に取り組んでまいります。 |
| | ・災害や不審者等に対応する整備を行っているか | 20 | 8 | 2 | | |
| 出納・経理 | ・各種会計を適正かつ適切に処理しているか | 21 | 9 | | | 法人本部と連携し適切に処理しております。 |